

令和5年度 家庭科

教科	技術家庭科	科目	家庭科	単位数	1	年次/コース	中学2年生/特進
使用教科書	新編 新しい技術・家庭（家庭分野）自立と共生を目指して（東京書籍）						
副教材など	中学技術/家庭学習ノート(自立と共生を目指して) 家庭分野（東京書籍）						

1. 学習の到達目標

<p>●科目について</p> <p>衣生活</p> <ul style="list-style-type: none"> ・衣服のはたらきを考え、TPOに合わせた衣服を選ぶ必要性を知りましょう。また、実際に衣服の手入れのを行うことで、洗濯機の収納に必要な技能を身につけましょう。さらに生活で使える小物の製作を通して基本的な技能を習得し、活用する単元です。 <p>住生活</p> <ul style="list-style-type: none"> ・住まいの役割と住まい方・住まいの安全について考え、また災害に備えた住まい方について考えます。サザエさんの家の間取りから、就寝分離と食寝分離を考え、時代とともに変化する家族や家庭のかたちを知り、自分らしい生き方について考える単元です。 <p>●コンピテンシーについて</p> <p>衣生活</p> <ul style="list-style-type: none"> ・衣服着用の機能を理解する [知能・技能の習得力・創造力] ・目的に応じた衣服着用の必要性を気づく [知能・技能の活用力・コミュニケーション力] ・既製服の適切な選択ができる [判断力・創造力・表現力] ・衣服材料に応じて日常着の適切な手入れができる [知識・技能の活用力・コミュニケーション力・判断力] ・被服材料の基礎的な技術を身につけることができる [知能・技能の活用力・協働力] <p>住生活</p> <ul style="list-style-type: none"> ・住まいの役割を理解する [知能・技能の習得力・創造力] ・家族の生活の仕方により住まい方が異なることを理解する [学びに向かう力・思考力] ・安全に住むための問題点を見通し具体策を考える [問題発見力・コミュニケーション力・表現力] ・住まいの中の防災・減災対策を考える。 [想像力・思考力・コミュニケーション力]

2. 学習方法について

<p>●授業中において</p> <ul style="list-style-type: none"> ・授業では、解説資料や動画を使って、学習ノートに取り組んでいきます。 ・授業の最後にノートを提出します。 ・作品の製作に関しては、動画で説明を聞き、教え合いながら相互に作業を進めていきましょう。 ・作業が終了したら、グループで相互評価を行い、互いに尊重する気持ちを養いましょう。 ・毎時間の進行状況をシートに記入し、次の授業につなげていきます。 ・授業ごとのリフレクションはClassroomにFormで送信します。その授業で学習したことの理解ができているかを問う内容になっています。リフレクションすることで学習内容を自分の中で整理し、次の授業につなげていくことができます。 <p>●家庭学習において</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学習した知識と技術を活用し、実際の家庭生活の中で実践することはとても大切です。生活の課題を主体的にとらえ、実践を通してその解決を目指すことにより、自分の生活を工夫し、創造する態度を育成できると考えています。 ・衣生活の単元では、夏休みの「洗濯実習」、住生活では冬休みの「家の大掃除」の課題レポートを提出してもらいます。

3. 学習評価（評価規準と評価方法）

	①：知識・技能	②：思考・判断・表現	③：主体的に学習に取り組む態度
観 点 の 趣 旨	<ul style="list-style-type: none"> ・衣服の着用、選択について理解し、基本的な知識・技能を身につけている。 ・衣服の社会生活上の機能について理解している。 ・衣服の洗濯や補修などの手入れの必要性を理解し、衣服の材料や状態に応じた手入れの方法を知っている。 ・布を用いた制作に関する知識・技能を身につけている。 ・住居の機能について理解し、安全で快適な室内環境の整え方と住まい方に関する基礎的な知識を身につけている。 ・家庭内事故の防止や自然災害への備えについて理解している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・衣服の着用、選択、手入れについて課題を見つけ、その解決を目指して工夫している。 ・目的に応じた着用や個性を生かす着用について考え、工夫している。 ・衣服の手入れの実習をやり、適切に行えるよう考え工夫する。 ・衣生活を豊かにするための製作計画や方法について工夫している。 ・住居の機能についてについて課題を見つけ、その解決を目指している。 ・安全で快適な室内環境の整え方と住まい方について課題を見つけ、具体的な対策を考えることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・衣服の着用、選択、手入れについて関心を持って学習活動に取り組み、衣生活をよりよくしようとしている。 ・衣服と社会生活とのかかわりに関心を持ち、TPOに応じた衣服を着用しようとしている。 ・布を用いた物の製作に関心を持って取り組み、自分や家族の生活を豊かにしようとしている。 ・家庭で洗濯機を用いて洗濯から収納まで行いレポートにまとめる。 ・自分や家族の住環境と生活行為との関わりについて関心をもって学習活動に取り組んでいる。 ・自宅の掃除を実践し、工夫などをレポートにまとめる。 ・安全で快適な室内環境に関心を持ち、整え方や住まい方の課題を主体的に捉え、住生活を豊かにするために実践しようとしている。
評 価 方 法	定期考査（学期末考査） 学習ノート リフレクションシート	定期考査（学期末考査） 学習ノート リフレクションシート	行動観察 洗濯実習レポート 大掃除レポート 学習ノート リフレクションシート
上に示す観点・評価方法に基づいて、各観点で評価し、学期末に当該学期の観点別学習状況の評価（A、B、Cの3段階）及び評定（1～5の5段階）にまとめます。また、学年末に年度を通しての観点別学習状況の評価（A、B、Cの3段階）及び評定（1～5の5段階）にまとめます。			

4. 学習の活動

学 期	単 元 名	学 習 内 容	主 な 評 価 の 観 点			単 元 （ 題 材 ） の 評 価 規 準	評 価 方 法
			①	②	③		
1 学 期	自 分 ら し い 生 き 方	<ul style="list-style-type: none"> ・作品づくり ・コーディネート の工夫 （レポート作 成） ・衣服の手入 れをしよう 	○	○	○	<ul style="list-style-type: none"> ・衣服製作の手順を知り、能動的に取り組み適切な縫い方や始末に丁寧に取り組むことができる。 ・衣服の働きに関心を持ち、目的に応じた着方や個性を生かした着方を考え、コーディネイトの工夫ができた ・洗濯機を用いた洗濯を実践し、取り扱い表示や繊維の種類をみて洗濯することの重要性や手入れの大切さをしる。 	実践カード 作品評価 マイコーデ イネイト 洗濯実習レ ポート

	生活を豊かにするために	<ul style="list-style-type: none"> ・持続可能な衣生活を目指して、衣服計画を立て、衣服の活用や管理の方法を工夫する。 		○	○	<ul style="list-style-type: none"> ・持続可能な衣生活を目指して、課題とその解決方法について考え、工夫している。 ・よりよい衣生活を目指して、衣服の選択と手入れや生活を豊かにするための布を用いた製作について、工夫し創造し、実践しようとしている。 	学習ノート 作品製作 行動観察
2 学期	住まいの役割と安全な住まい方	<ul style="list-style-type: none"> ・住まいの役割や基本的な機能について考える ・自分や家族の生活と住まい方との関わりを考える。 ・災害対策について家庭での取り組みを話し合う。 ・快適な住まい 	○	○	○	<ul style="list-style-type: none"> ・家族の生活と住空間との関わりについて理解している。 ・住居の基本的な機能について理解している。 ・構成が異なることで、生じる問題点に気づき、主体的に解決策を考え、リフォーム案を提案し、グループの意見をまとめワークシートを完成できた。 ・住居の中にある危険を予測し、被害を減らす方法を考え、住まいの安全を確保する方法を提案し、グループの意見をまとめ、ワークシートを完成できた。 ・環境や健康の視点を踏まえ、より快適に過ごせる住まいにするために、具体的な工夫を考え提案し、グループの意見をまとめ、ワークシートを完成できた。 	グループ発表 学習ノート 学習ノート グループワーク
3 学期	住まいの役割と安全な住まい方	<ul style="list-style-type: none"> ・家族の住まいを安全・安心に 		○	○	<ul style="list-style-type: none"> ・家庭内事故とその原因について知り、安全に住むために改善できることを考える ・持続可能な住生活のために、課題を見つけ、改善方法を考える。 	学習ノート